

公益財団法人とよなか国際交流協会
2019年度年次報告書（概要版）

こくりゅう@home 2019

2019年4月1日～2020年3月31日（26期）

公正で持続可能な多文化共生社会をつくります



とよなか国際交流協会 2019年度年次報告書（概要版）こくりゅう@home 2019

も・く・じ

もくじ・とよなか国際交流協会の活動について	2
理事長・事務局長あいさつ	3
外国人をとりまく現状と ATOMS の取り組み	4-5
<各事業からの報告>	
・学習支援・サンフレイス／子ども母語	6
・多文化保育「にこにこ」／韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい	7
・若者支援事業／外国人のこども白書・子どもの夢応援ネットワーク／とよなかこどもにほんご教室	8
・小学校外国語体験活動事業／子ども学習広場「学楽多」	9
・多言語相談サービス事業	10-11
・国際教育／Filipino Young at Heart's Club	12
・防災事業／平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ	13
・留学生・ホストファミリー事業	14
・しようない・おやこでにほんご／おかまち・おやこでにほんご	15
・せんり・おやこでにほんご／日本語交流活動「千里にほんご」	16
・日本語交流活動「もっともっとつかえるにほんご」「とよなかにほんご・木ひる」	17
・日本語交流活動「とよなかにほんご・金あさ」「にちようがちゃがちゃだん」	18
・多文化共生推進事業／ボランティア養成・研修・哲学カフェ	19
・持続可能な開発のための教育の10年（ESD）とよなか／通訳派遣	20
／メディアリテラシー・市民ゼミナール／講師派遣／EPA介護福祉士候補者のための日本語	21
・市民活動協働事業／施設管理受託事業	21-25
TOPICS	
財務報告	26-27
協力者ご芳名	28
役員紹介／スタッフ紹介	29
事業一覧	30
広告協賛	31-32

とよなか国際交流協会の活動について

～公正で持続可能な多文化共生社会を創ります～

外国人が安心して集える居場所づくり＆エンパワメントをすすめる事業や多文化共生社会を推進するひとづくりを中心、さまざまな活動を地域や学校と連携しながら日常的に展開しています。

【活動理念】市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる

受賞歴	
2016. 10	大阪NPOセンター CSOアワード CSO賞
2014. 01	大阪弁護士会 人権賞
2013. 05	憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
2013. 02	公益財団法人パナソニ ック教育財団 2012年度 「子どもたちの“ここ ろを育む活動”」奨励賞

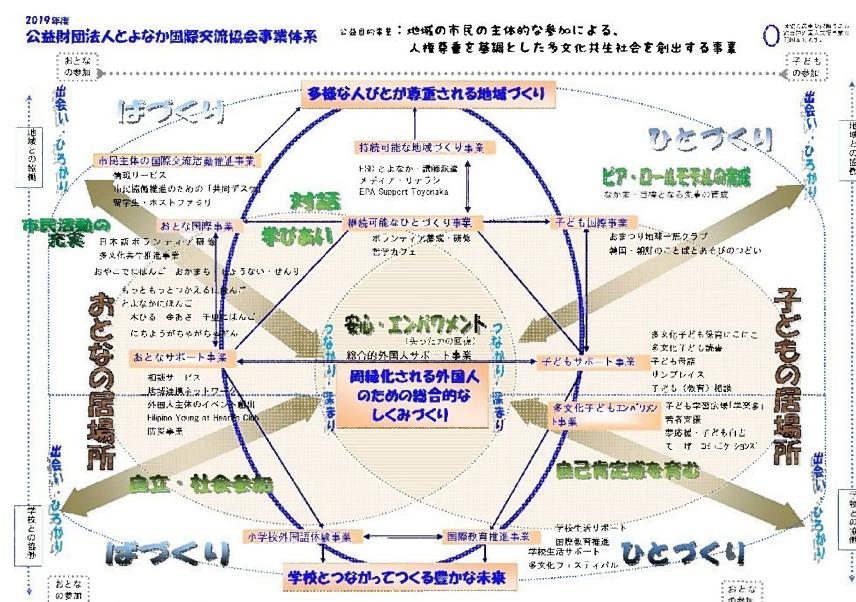
公益財団法人とよなか国際交流協会

住所：大阪府豊中市玉井町1-1-1-601

エトレ豊中6階 とよなか国際交流センター

TEL:06-6843-4343 FAX 06-6843-4375 (水曜休館)

E-mail: atoms@a.zaq.jp URL <http://www.a-atoms.info>



理事長あいさつ

今、とよなか国際交流センターは、人影まばらです（2020年5月1日現在）。新型コロナウィルス感染症の関係で、利用者も、ボランティアも、センターに来ることができないからです。とよなか国際交流協会の事務局も、少数の事務局スタッフと多言語相談スタッフに減らしてセンターで活動をしています。ただ、このようなご時世でも、多言語相談の電話は少なくありません。いや、むしろ「この様なご時世でも」ではなく、「このようなご時世だからこそ」、ヘルプを求める相談が寄せられています。当協会は、こうしてその時々ヘルプを求める外国人をサポートし、あるいはサポートして頂くボランティアの窓口となり、長年にわたり活動してきたのだな、と、この人影まばらなセンターで、改めて感じている今日この頃です。皆様には、本報告書を、どのような当協会の（あるいはボランティアの）長年の活動の現在地を示す見取り図のようなものとして、ご覧頂ければありがたいです。

まつもとやすゆき

松本康之

(理事長)



事務局長あいさつ

2019年は発信の年でした。協会の設立25周年を記念した本「外国人と共生する地域づくり～大阪・豊中の実践から見えてきたもの」や「無断離婚対応マニュアル」などを出版し、さらにそれをテーマとして取り上げたシンポジウムなどを開催することができました。一緒に活動に取り組んできた市民のみなさん、それからいろいろと支え、応援してくださったみなさんにお礼申し上げます。

一転して、年明けからは新型コロナウィルスの感染拡大により、事業の長期のお休み、休館等、初めての事態がたくさんきました。そんな中、「stay home」「外出自粛」「テレワーク」などが推奨される中、「つながり」が問い合わせされました。改めて、日々の活動の中で培われ、積み上げられた「つながり」に勝るものはないと思った。

今の状況がどこまで続くのか、今年はどんなことが待ち受けているか分かりません。それぞれの事業も形を変えたり、工夫したりしないといけないこともあると思います。そんな中でも、どうつながっていくか、新しい挑戦へのチャンスだと思って臨みたいと思います。

みなさん、よろしくお願いします。



やまのうえたかし

山野上隆史

(事務局長／常務理事)

外国人をとりまく現状とATOMSの取り組み

とよなか国際交流協会
通称 ATOMS（アトムス）

基本理念

市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる。

事業の三本柱

- ① 多様な人々が尊重される地域づくり
- ② 周縁化される外国人のための総合的なしきみづくり
- ③ 学校とつながってつくる豊かな未来

● 豊中市の外国人人口と国籍数 [2020年3月末]

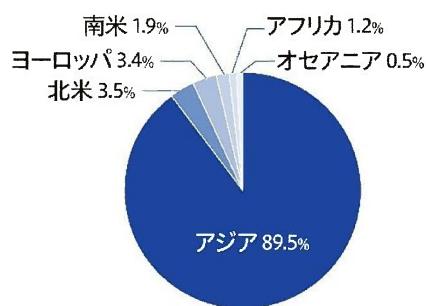
[人口] 6,138人

豊中市の総人口の約1.5%

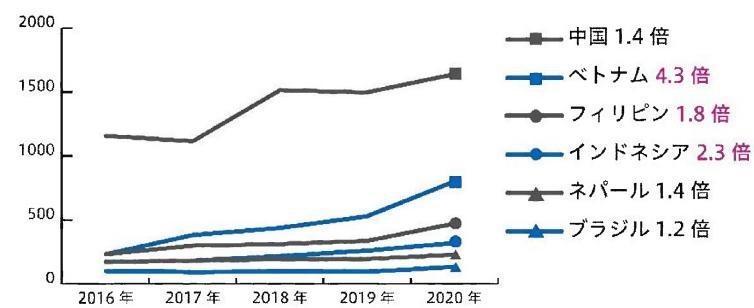
この5年で豊中市に暮らす外国人の数は約30%増加しています
(参照) 2016年3月末の外国人人口 4,728人

[国籍数] 96ヶ国・地域

■ 出身圏の割合 → 約90%がアジア出身

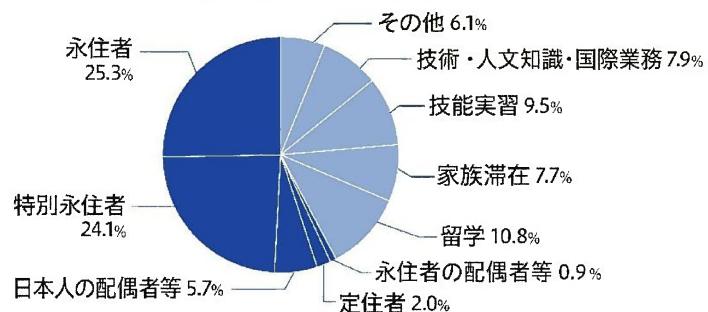


■ この5年で特に増加率が高かった上位6ヶ国



国・地域別の上位10	1 韓国・朝鮮	1,961人
	2 中国	1,642人
	3 ベトナム	707人
	4 フィリピン	311人
	5 インドネシア	169人
	6 米国	160人
	7 台湾	151人
	8 インド	120人
	9 ネパール	113人
	10 タイ	79人

■ 在留資格別割合 → 長く暮らす人が増えています



取り組み

① 外国人のライフステージに沿った多様な支援

乳幼児	多文化子ども保育「にこにこ」 ... P.7 おやこでにほんご ... P.15
こども	こども母語(4言語) ... P.6 学習支援「サンプレイス」 ... P.6 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ... P.7
わかもの	若者支援事業 ... P.8 留学生・ホストファミリー事業 ... P.14
おとな	多言語での相談サービス(11言語) ... P.10 日本語交流活動 ... P.16 おやこでにほんご ... P.15
高齢者	多言語での相談サービス ... P.10 Filipino Young at Heart's Club ... P.12 (フィリピン人の中高年支援事業)

受賞歴	2016年 大阪NPOセンター CSOアワード CSO賞 2014年 第13回大阪弁護士会 人権賞 2013年 憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞 公益財団法人パナソニック教育財団 2012年度 「子どもたちの“こころを育む活動”」奨励賞
-----	---

◆ (公財)とよなか国際交流協会は指定管理者としてとよなか国際交流センターの管理・運営を行っています。

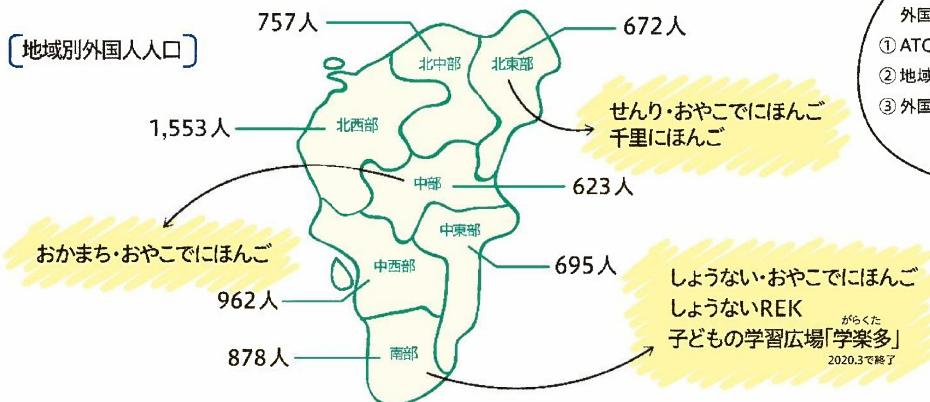
Facebookページ

とよなか国際交流協会 で検索!





② センターから飛び出して実施している事業



外国人人口は各地域で増えていますが、
 ①ATOMSの存在が充分知られていない
 ②地域の人が外国人の状況や課題をよく知らない
 ③外国人が孤立している(ご近所とつながりがない)
 などの課題があります。



③ 地域で活動する市民ボランティア

ATOMSで活動するボランティア 約490人

にほんごボランティア:162人
 ママさんボランティア:44人
 大学生・高校生ボランティア:25人
 外国人ボランティア:82人
 ホストファミリーボランティア:126家族 他
 賛助会員:個人会員269人、団体会員7団体



④ さまざまな団体と一緒に取り組む活動



学校との協働

- 小学校外国語体験活動
- 多文化フェスティバル
- 講師派遣
- 多言語による進路ガイダンス
- ニュースレター『こくりゅうだより』
表紙イラスト(池田高校、桜塙高校)
- 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい



地域のさまざまな団体との連携

- しょななREK
→ 外国にルーツを持つ中学生のための進路相談会@庄内など
- 豊中市スポーツ振興事業団
→ 「サムライプロジェクト」(外国人のための武道体験)
- とよなか国際交流センター登録団体との連携
→ 國際交流フェスタなど
- 共同デスク=6団体*が共同運営している事業(2019年度現在)
→ 中間支援組織間の情報共有・連携



図書館との協働

- 「おやこでにほんご」
→ 岡町、庄内、千里図書館
- 多文化子ども読書推進事業

* (社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(公財)豊中市スポーツ振興事業団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21、(特活)とよなかESDネットワーク、(公財)とよなか国際交流協会の6団体。

2019年度の大きな出来事



とよなか国際交流協会&センター25周年 記念書籍の出版と、出版記念シンポジウム

国際交流センターでの日々の仕事、想いや利用者の声などが入った一冊。
 シンポジウムには遠方からも参加がありました。



いずれの書籍も
センター事務所や書店で
お買い求めいただけます



無断離婚対応マニュアル出版 & 記念シンポジウム

当協会の相談対応の現場が出発点となって生まれた1冊。
 テレビや新聞などのメディアでも大きく取り上げられました。



新型コロナウイルス対策

2月3日に新型コロナウイルスの感染拡大を受け、災害時多言語情報支援センターを設置しました。
 言語別のFacebookページを立ち上げ、多言語で情報提供を行っています。



2020年度に向けて

新型コロナウイルスの感染が拡大している中で、外国人が孤立せず、安心・安全に暮らせるように
 何ができるのか、出会いやつながりのカタチを柔軟に考え、実践していきたいと思います。

各事業からの報告

こども
サポート
事業

学習支援・サンフレイス

外国にルーツを持つ子どもたちのための居場所づくり。大学生ボランティアが運営しています。
毎週日曜日 13:00～15:00（第一日曜日は休み）

ボランティアより



写真上) 母語とサンフレイス合同クリスマス会を開催しました。中南米でのお祝い事に欠かせない「ピニャータ」(くす玉)をしました

写真下) ピニャータから出てきたお菓子を必死にかき集めます。

2019年度を振り返って

サンフレイスは、子どもたちのやりたいことを全力で一緒にやります。遊んだり、お話したり、勉強など、学生ボランティアのお兄ちゃんお姉ちゃんと何でもできるところです！2019年度では、こども母語との合同クリスマスパーティーなどのイベントも開催することができました。それぞれの個性を尊重し、子どもたちが毎回来たくなるような居場所づくりをしていきます。

2020年度に向けて

2019年度で行ったイベントはボランティア考案のアイデアを基に進めたものだったので、2020年度では子どもたちがやりたいことを基にイベントや外での活動が行なっていきたいです。

こども
サポート
事業

こども母語

外国にルーツをもつ子どものための母語教室。中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語を開講しています。
講師はそれぞれのルーツをもつ若者です。(ポルトガル語は現在休講中)

第2、第4日曜日 10:00～12:00

ボランティアより

2019年度を振り返って

2019年度では母の日には工作、夏には料理会など各母語教室の子どもたちが言語の壁を越えて交流できる時間をつくりました。普段の教室では新しい教材を使うなど、より楽しく、学べる範囲も広げながら母語に触れることができました。また、今年はトライアル企画として英語を母語とする親子のための「English Day」を開催しました。

2020年度に向けて

普段の教室で母語の習得だけでなく、自国の文化や歴史などにも触れる機会をつくりたいです。また子どもたちが楽しく学べるようにゲーム感覚でできる学びのスタイルもつくりていきたいです。



写真左) 母語のイベントでペルー料理（アヒ・デ・ガジーナ）を教えてもらってみんなで作りました！

写真右上) みんな真剣な顔で料理をしています

写真右下) English Day の様子。買い物ゲームを楽しみました。

こども
サポート
事 業

多文化子ども保育「にこにこ」

外国にルーツをもつ乳幼児のための保育活動。保育ボランティアが運営しています。
毎週木曜日 13:30~15:30 / 金曜日 10:30~12:00

ボランティアより



写真左) プレイルームにはおもちゃや絵本、その他遊ぶものが沢山あります。

写真右上) 粘土あそびも大人気です。集中しています。

写真右下) お気に入りの場所でのんびり過ごすことも。

2019 年度を振り返って

多文化の子どもたちが一緒にセンター内のプレイルームで遊んでいます。国・宗教・年齢・性別が違っても子どもの世界は同じです。初めは言葉が通じなくても一緒にいることでだんだんとお互い通じ合い、言葉を少しずつ話せるようになると、こちらも嬉しい気持ちになります。日々の成長は素晴らしいそれを見るのも楽しみです。保護者が安心して預けられ、子どもたちもいつも笑顔で良い時を過ごせたらと思います。

2020 年度に向けて

子どもの数は少ないですが、絵本の世界に触れてもらいたいので、機会を設けて読み聞かせや紙芝居をしたいと思います。保護者が日本語を学べる手助けや日本の子育てに関する悩みを聞いたりして役に立ちたいと思います。

こども
国事
際業

韓国・朝鮮のことばと遊びのつどい

韓国・朝鮮にルーツをもつ子どもたちが集まり、民族講師（ソンセンニム）や友達（チング）と自分たちの歴史や言葉、遊びなどの文化を学んでいます。毎月第3土曜日午前中に開催。

共催団体の豊中市在日外国人教

育推進協議会の先生方より

2019 年度を振り返って

今年度は、40周年を迎えた「ハギハッキョ」をとよなか国際交流センターで行いました。ハギハッキョの卒業生やこれまで子どもたちを支えてきた方々にも参加していただき、たくさんの思いを共有することができました。活動を続けることの大切さをそれぞれが感じる時間になりました。

また、毎年参加している多文化フェスティバルには、例年同様体験ブースを出し、正方形と長方形の折り紙を折って三角形や平行四辺形のパーツを作り、鳥や家などの型紙に置いていくパズル遊びを紹介しました。家でも楽しんでもらうことができたかなと思っています。



2020 年度に向けて

子どもたちにとって、「自分のことをわかってくれる」という気持ちで自分のことについて話したり、思いをぶつけたりすることができる居場所であり続けられるように、月一回、みんなで集まり、活動していきます。少しでも参加人数が増えるように、声かけしていきます。

写真上) こどもたち、ソンセンニム、おとなたちがゲームで一緒に楽しめます

写真下左) サムルノリの発表に向けて、楽器の練習

写真下右) 多文化フェスティバルではブースを出しました。工作にチャレンジ！

多文化こども
エンパワメント
事　業

若者支援事業

外国にルーツをもつ若者のための居場所づくりをさまざまな角度から行っています。15歳以上の外国にルーツをもつ若者が中心となり、国際交流センターはもちろん、地域で色々な活動に取り組んできました。

コーディネーターより



2019年度を振り返って

若者それぞれの、たまりばへの参加の動機を大切にしながら、ともに悩んで、ともに楽しむような雰囲気になっています。定例の調理や卓球に加えて、プレゼンやレジン講座、遠足などの活動もしました。

2020年度に向けて

ゆるくつながる場として、「これからもきていいんだ」「思い出したからきてみた」感から、仲間を増やしていきたいと思っています。「3密」を避けた移動・屋外たまりばや、リモートたまりばにも挑戦したいです。



写真上) CC スペースでみんなでごはん 写真下左から) 「レジンでものづくり教室がスタート!」「ネバールについてプレゼンテーションしてくれました」「センターを出て遠足にも行きました(伊丹探索)」「チャーハン作り、味対決!」

多文化こども
エンパワメント
事　業

外国人のこども白書・子どもの夢応援ネットワーク / とよなかこどもにほんご教室

外国人にルーツを持つ子どもたちを支援する関西の個人・団体によるネットワーク活動／日本語学習が必要な子どものための日本語教室

2019年度を振り返って

<子ども白書・夢応援ネットワーク>

「いま自分、何してる? 10代&20代の本音とタテマエ」や「ともにいきるシンポ part3 -多民族社会日本のこれから-」などを行いました。ふだんはそれぞれの現場で活動していますが、定期的に情報交換をしたり、広くつながる機会を設けることで刺激と元気をもらっています。

また、子どもの夢応援ネットワークに対して、研修会の企画や講師の依頼などもいただきました。活動の場を少しずつ広げていきます。

<こどもにほんご教室>

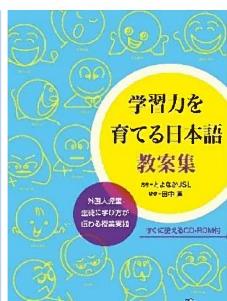
長年にわたって「こどもにほんご教室」として子どもたちの日本語指導に携わってきた中で、少しでもより良い指導のためにと書き溜めた教案を整理して7月に「学習力を育てる日本語教案集」を出版しました。私たちの教案集がたくさんの日本語指導の方々の一助となればとの思いから、11月にとよなか国際交流センターで、12月に東京で出版記念イベントを開催し、沢山の方に来ていただき、交流を深めることができました。

2020年度に向けて

<子ども白書・夢応援ネットワーク>
外国人にルーツをもつ子どもたちに対する支援は、まだ行き届いていない部分もたくさんあります。メンバーや協力者などを募りながら、活動を広く展開していくたいと思います。

<こどもにほんご教室>

「学習日本語こんぱす」をスタートします。外国人にルーツをもつ小・中学生や帰国した子どもたち、過年度生を対象に生活のための日本語にとどまらず、学校の授業についていける日本語の習得をめざします。



写真上) こども日本語プロジェクトを担っていた「とよなかJSL」が教案集を出版!

写真下) 東京で出版記念シンポジウムを開催しました!

学校とつなが
ってつくる豊か
な未来事業

小学校外国語体験活動事業

豊中市のすべての小学校（全41校）の3年生～6年生のクラスに、地域に暮らす外国人ボランティアを派遣して、ルーツのある国の文化や言葉を紹介します。豊中市教育委員会の委託事業。

コーディネーターより



2020年度に向けて

より多くのボランティアに参加してもらい、新しい出会いを少しでも増やしていきたいです。コロナウイルスの影響で外国との交流が希薄になる傾向も考えられるので、この活動を通して正しい知識を伝える役割にもなれたらと思います。

2019年度を振り返って

市内の小学生が授業を通して地域に住む外国人ボランティアと出会える大切な機会になっています。子どもたちにとって、この様な異文化交流体験は世界つながる多文化共生社会をつくる上で必要なプログラムです。また、活動に参加することで自信をとりもどし元気になった外国人ボランティアは今年度も少なくありませんでした。2月末以降は新型コロナウイルスの影響で休校となり、授業ができなくなってしまいとても残念でした。

写真上）授業では、子どもたちは文字やことば、文化などを学びます。

写真下左）研修会の様子。ボランティア同士で授業のアイデアをシェアします。

写真下右）年に数回研修会を行いますデモレッスンをやり、お互いにアドバイスをしていきます。

多文化こども
エンパワメント
事業

子ども学習広場「学楽多（がらくた）」

豊中市くらし支援課の委託事業として、市内2か所で子どもの学習サポートを行っています。(2019年度で終了) @「しょうないガダバ」は毎週火曜日16:30～21:00、@とよなか国際交流センターは毎週金曜日17:00～19:00。

2019年度を振り返って

この活動では学習支援を軸としながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供するため、2016年から事業を行ってきました。活動では学習だけでなく、お菓子作りやみんなで楽しめる遊び、相談など、子どもたちとともに事業を行ってきました。

2019年度は小学生から高校生まで、異なる年齢でのかかわりが多く、子ども同士の遊び合いや刺激につながりました。子どもたちの心身の成長を多く感じる年でした。

2020年度に向けて

学楽多は2019年度で事業を終了しましたが、学楽多でつながった子どもたちが今後悩んだり、つまずきそうになった時に相談ができるよう、引き続きつながっていきたいと思っています。



写真上）お菓子や料理づくりも、学楽多では定番の楽しみでした
写真左）学楽多ではいろんな背景を持つ子ども、若者が多くあつまり、一緒に時間を過ごしていました

おとな サポート 事　業

多言語相談サービス事業

外国人市民が地域で安心して生活できるよう、必要な情報の提供と相談サービス（電話、面接）を多言語で行う。相談体制：金曜日 11 時～16 時／日本語、英語、フィリピン語、タイ語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語（2019 年度よりなし）、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール

2019 年度相談実績について

2019 年度の相談件数は 952 件。前年度が 1,001 件、前々年度が 952 件で、ここ数年 1,000 件前後で推移しています。相談件数には、子ども支援事業での相談件数（※事務局職員対応分）も含まれています。週 1 回の相談日はほぼ飽和状態でもあり、2020 年度から相談体制を拡充させることになりました。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、49.1%。センター事業の「利用者」からの相談も、例年通り豊中市民が多く、約 70% を占めています。大阪府内全域で約 80%、兵庫県内の豊中市近隣市町を含めると全体の約 85% です。残りは、遠方の他府県や海外から、電話やメール等で相談が寄せられています。海外からは、無断離婚に関する相談が多数ありました。

国籍はフィリピンが最も多く 28.3% ですが、例年より構成比率が減少しています。次いで中国が 14.1%、ネパールが 9.9%、ベトナム 5.6%、韓国 5.3%、タイ 4.0%。在住人口が増加しているネパール、ベトナムは相談でも増加傾向を示しています。日本国籍からの相談も多く、約 12% を占めています。

日本国籍ですが日本以外にルーツを持つ人からの相談件数は 93 件（約 10%）でした。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は 34 件で、例年このような傾向が続いています。日本国籍者の多文化化の傾向が窺えます。外国籍でも日本語で相談を行ったのは 324 件で（約 34%）、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語（母語）とするものは 79 件、23 か国語でした。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守るために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多くありました。国籍は 39 か国に及びました。

在留資格は永住者 16.8%、家族滞在 14.9%、定住者 14.4%、配偶者 12.6%。相談における在留資格「家族滞在」の件数の増加の背景は、就労ネパール人が呼び寄せた配偶者や子からの相談の急増があります。

職業では介護職が 6.4%、介護職以外のパート・アルバイト（工場勤務等）が 20.7%、学生 12.1%（留学、大学生、小中高生全て）、無職（主婦を除く）が 15.2%。学生は主に中高生の相談です。無職の約半数は生活保護受給者で、就労者はほぼ非正規労働者です。



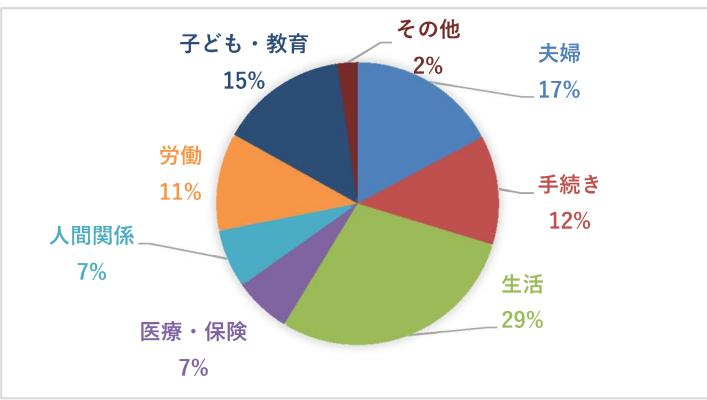
写真上・下）センターに集う外国人利用者間の交流を目的として「インターナショナルポットラックパーティ」を昨年に引き続き開催。事業ボランティアも含めて 100 人以上が集って大盛況でした。多言語スタッフ（写真上）が中心となって企画・運営しました。



「協議離婚問題研究会（リコン・アラート）」と大阪弁護士会が主催した「外国人のための一一日離婚電話ホットライン」。終了後に関係者で振り返りを行いました。年 1 回の電話相談会をこれからも継続することで、広く認知してもらえるようになればと思っています。



リコン・アラートが中心となり、日本加除出版より「無断離婚対応マニュアル～外国人支援のための実務と課題」を 9 月に発刊しました。これを記念して、12 月にはとよなか国際交流センターにおいて出版記念シンポジウムを開催し、44 名が参加しました（後援：日本家族＜社会と法＞学会、大阪弁護士会）。当日は無断離婚被害者である外国人女性 2 名からの報告があり、日本人配偶者から「勝手に離婚届を出されていた」ことによるご自身の痛烈な悲しみ、日本の司法制度への失望、子どもが受けた深刻な影響についてお話しいただきました。また、このように簡単に離婚が成立してしまう日本の法制度の問題を指摘し、「今後自分たちのような被害を受ける人がなくなるよう、改善を求める」と強く語られました。今後、協議離婚そのものの改善を求めていくと共に、今後も引き続き被害を防ぐための啓発に取り組み、支援の輪を広げていきたいと思っています。



2019 年度相談内容別



多言語スタッフと相談員、事務局で ATOMS ふりかえり会（事業評価会）に向けて 1 年の振り返り作業を行いました。



ネパール語の多言語スタッフがダンス（ネパールの秋の大祭）のパーティを企画しました。若者も参加して、楽しく過ごしました。



「日本語支援グループ・むすびめ」と協会で実施している日本語検定サポートは、毎年日本語能力検定試験前に 3 か月ずつ実施しています。実施回数のべ 47 回、今年は 20 人をサポートしました。

2020 年度に向けて

- ・スタッフ個々人の能力向上、研修の頻回開催。事例検討会を実施する。
- ・地域の外国人自助グループとの連携や側面支援、多言語スタッフキーパーソン化を進めたい。
- ・「通訳と外国人相談」について、問題・課題整理＆発信する。

【相談サービス事業における対応について】

(1) ケース・ワークと他機関とのネットワーク（連携）

相談者の状況や相談内容が、諸制度を利用して問題の解決をはかる必要がある場合、ケース・ワークを行う。

豊中市在住の相談者について、相談者が他機関に関わっている場合、あるいは問題対応に他機関との連携が必要な場合は、関係機関で情報を共有したり協力するなど、より適切に対応できるようにする。

ケース・ワークが必要だが、相談者が遠方に住んでいたり、当協会が直接の関係機関として関与しない場合などは、相談者が住む地域の援助機関と連携をとる。その地域で多言語の援助がない場合は、スタッフが相談者に対し、彼／彼女の状況を説明したり、相談者の希望や考えを援助機関に伝えるなど、仲介的役割を担う。

他機関では多文化対応が不十分な場合があるため、相談者の状況についてスタッフが機関に説明し、適切な対応を依頼する。また相談者は、どのような支援が受けられるか十分理解できないことが多いため、スタッフが相談者の母語で説明し、相談者の安心や納得を促す。その地域で多言語対応が可能な場合でも、相談者がスタッフへの相談を望む場合は、相談者の不安を支え、相談者が適切な支援を受けられるよう支援する。

(2) 心理カウンセリング

相談者の悩みや問題について、相談者自身の内面に焦点を当てる必要がある場合は、心理カウンセリングを行う。相談者が自分の内面に目が向けられるよう、受容・共感・承認的応答を行い、自分の気持ちや考えに気づき、自分なりの決定や選択ができるよう支援する。

(3) 情報提供等

日常生活における情報や、行政手続等に関する情報など、相談者が法・制度や地域情報等を知らなかったり、理解していない場合は、情報提供する。

例) 公営住宅の申込み、交通事故の対応、病院の情報、健康診断の結果について、確定申告、求職時の書類記入等

(4) 安心して集まるコミュニティづくり

センターでの他事業を利用する来館者に対し、同国・母語の仲間と出会い、安心できる環境を提供する。コミュニティ内で集う人が安心できるようなコミュニケーションに注意したり、ニーズに対応するなどを行った。必要であれば、随時個別相談として対応し、また逆に、相談に訪れた人に出会いの場へ促すなどを行う。

学校とつなが
ってつくる豊か
な未来事業

国際教育

「多文化フェスティバル」、帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業での「多言語による進路相談会」など、学校や教育委員会との連携により、外国にルーツを持つ子どもたちをサポートしています。

2019年度を振り返って

多文化フェスティバルでは、センター内外で活動する多様な事業からのステージ発表やブース出展がありました。今年度は「世界のあいさつbingo」を持ってブースを回るという仕掛けづくりをし、多くの参加者に様々な文化や体験を楽しんでもらうことができました。また、豊能ブロック協議会の構成団体として帰国渡日児童生徒のための「多言語進路相談会」を開催しました。昨年度を上回る参加者があり、高校入試制度や進学後の生活の説明など、外国にルーツを持つ児童生徒の進路保障の貴重な場となりました。



多文化フェスティバルでのステージ発表の様子。外国にルーツを持つ子どもたちによるダンス発表がありました

2020年度に向けて

「多文化フェスティバル」では、これまで以上に外国にルーツを持つ子どもが出会い、つながる仕組みづくりとしての機能を充実させたいと思います。「多言語進路相談会」では、情報を本当に必要としている外国にルーツを持つ子どもやその保護者にしっかりと情報を届けられるよう、学校や教育委員会等の関係機関との連携を一層図ると同時に、外国にルーツを持つ子どもの進学状況の情報交換会も実施したいと考えています。

おとな
サポート
事業

Filipino Young at Heart's Club (FYAHC)

2016年度に（公財）大阪コミュニティ財団の助成を受けて実施した外国人高齢者の調査をふまえて、相談サービスで利用者が最も多いフィリピン人を対象として、40歳以上の中高年向けの居場所を2017年5月から「Filipino Young at Heart's Club」として毎月1回程度開催しています。

2019年度を振り返って

2019年度はピノイフェスタやダンス、クリスマスなど多くの取り組みを行いました。参加者の中にはプライベートが忙しく、活動から足が遠のいていた人もいましたが、イベントなどで役割を担ってもらうことで、参加者のエンパワメントにつなげることができました。

自分たちの大切な文化や習慣を取り戻し、フィリピン人として自信をもって生活を送れるようになった参加者もいました。



写真上) ピノイフェスタではすてっぷホールに多くの人が集まりました！
写真下) 每年恒例のクリスマス会ではみんなご飯を持ち寄り楽しみました！

2020年度に向けて

2019年度はスポーツイベントの実施が出来なかった。また、豊中市の南部にセンターに来たことがないフィリピン人が多くいるので、南部の体育館でイベントをやってみたいですね。また、盆ダンスやクリスマスに向けたハンドベルなどの講座もしてみたいですね。

おとな サポート 事業

防災事業

災害の多い日本で外国人が安心して暮らせるように、大規模災害時の外国人支援につながる啓発活動を行い、災害時の支援体制を整備していく取り組みを各機関と連携しながら行っています。

2019 年度を振り返って

地域で開催される防災訓練にブース出展し、とよなか国流での取り組みについて伝えるなど、地域へのアプローチに取り組みました。少しづつ、地域での認識が広がってきてているように感じます。

2月、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、災害時多言語情報支援センターを設置し、外国人に対する情報発信を続けています。言語別にfacebookページを立ち上げ、一人でも多くの人に情報を届けるために取り組んでいます。



千成小学校で行われた神崎川流域合同防災訓練に参加しました。ここで行われたバケツリーレ大会では地域の会社で働くインドネシア人技能実習生たちが健闘していました。

2020 年度に向けて

漏れなく情報を届けることは難しい…改めて大きな課題だと感じています。ホームページやSNSだけでなく、メールや近所の人など、いざというときに誰一人取り残されないようにするための方法、仕組みづくりを進めています。

こども国際事業

平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ

小・中学生のための国際理解プログラム。地域に住む外国人を講師に迎えて交流しながら、様々な国、地域について学びます。

2019 年度を振り返って

様々な国出身の方を講師に招き、遊びや料理、ゲーム等の体験を通して、その国の文化について学びました（5回実施）。今年度もアジアの国を中心に、プログラムを実施しました。そして、センター内の活動だけでなく、コリアタウンへフィールドワークに行き、地元出身の方の案内で街の歴史や住んでいる方の想い等をうかがうことができました。参加する子どもたちは毎回講師へ積極的に質問をしながら体験をしていました。



写真上) インドネシアの神様(ハヌマーンなど)をモチーフにした紙人形の工作に挑戦

写真下左) シンガポール伝統のあそび(5 stones)は日本のお手玉と似ています

写真下中) コリアタウンの東側を流れる平野川の歴史を聞く

写真下右) 鶴橋駅すぐの市場を散策

2020 年度に向けて

2020 年度も、多様な角度から国際理解・多文化共生について体験しながら考えることができるプログラムを企画していきたいです。



留学生・ホストファミリー事業

留学生とホストファミリーのホームビジット型の交流活動。半年から1年にかけて交流しています。
運営は「ホストファミリー世話人会」が中心になって、様々なイベントや日本文化体験事業も開催しています。



春の交流会 万博公園でピクニック



写真上左) 秋の交流会 ポットラックパーティーでのひとコマ みんなで一緒によさこい！
写真上中) 留学生たちと食事会
写真上右) 留学生の子どもに きもの着付け中
写真左) 春の交流会 万博公園でピクニックでのひとコマ じゃんけんトレイン

世話人会より

2019 年度を振り返って

ホームビジット型のホストファミリープログラムです。留学生の日本滞在中、月1～2回程度の交流をしています。公式な期間が終了し、留学生が帰国した後も、旅行で再来日し交流を重ねたり、結婚式に招待されたり、留学生の国を観光で訪問するなど、引き続き交流を続けるケースがあります。これもひとえにホストファミリーが留学生を家族の一員として受け入れ、お互いが理解しあえた結果です。国家間の関係は時に難しく良好でない場合でも、異文化を尊重し個人レベルで国際交流が一層広がっていくことを望んでいます。

2020 年度に向けて

ホームビジット型のこのプログラムを多くの人に知ってもらい、国際交流、多文化共生の入り口となる機会を提供できるよう広報活動をしていきます。

にほんご 交流活動 事 業

しょうない・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00～12:00 (会場：庄内図書館)



写真左) サンドイッチづくりでの一コマ
写真右上) お茶会
写真右下) 味噌づくりをしました。



ボランティアより

2020 年度に向けて

ボランティアが減っている為、少ない人数で出来る色々な工夫をしながら外国人ママと日本人ママの「やりたい」を少しでも形にしての居場所作りを続けていきたいです。

2019 度を振り返って

新しい参加者が遊びに来てくれて、その国のクッキングなどしました。しょうないキッズフェスティバルや今では恒例行事になった庄内公民館祭りにも参加して地域の方との交流も積極的に行えて良かったです。

にほんご 交流活動 事 業

おかまち・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00～12:00 (会場：岡町図書館)

2019 度を振り返って

ボランティアより

2019 年は同じ年頃の元気な子どもたちが多く集まり、子どもたちは遊び、日ごろ家事や育児で忙しいママ達は、おしゃべりをしたりクラフトや手芸をしたり、束の間の休息を取ることが出来ました。後半は、コロナウイルスの影響でおやこでにほんごがお休みの間も、マスクやアルコールの販売情報等、日本人ママも外国人ママもお互いに SNS 上で情報交換をしました。ご近所のドラッグストアの情報を外国人ママから貰い、随分助けられました。

2020 年度に向けて

2020 年度もコロナウイルスの影響でおやこでにほんごの活動も休止状態が続いている (2020 年 6 月現在)。SNS 等を上手く活用しながら、お互いに交流を続けていきたいと思います。無事に活動が再開する日を、皆、楽しみにしています。再開した際には、緊急事態時に困ったこと等をお互いに話し合いし、今後に備えていきたいと思います。



写真左) ランチパックづくりに挑戦しました！
写真右) ゆったりした雰囲気で活動しています

にほんご 交流活動 事 業

せんり・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場:千里図書館)

2019 年度を振り返って

毎月多彩なイベントを企画できた。地域や国流のイベントにも参加し、活動の幅を広げることができた。お料理会や読み聞かせでは、外国人ママが「先生役」となり、出身国のことなどを紹介してくれる機会も多く持てた。また、お友だちを誘ってくれたり、期間が空いてもきてくれるなど、継続的に参加してくれる外国人ママが増えてきた。スタッフ間では、運営方法を話し合い、より良い運営のための改善策を考えることができました。



2020 年度に向けて

参加者が要望を言いやすい雰囲気作りをしていきたい。外国人ママが活躍できる活動をさらに増やしたいです。どのような状況の中でも、外国人ママの居場所となれる方法を考え、広報活動に力を入れたいです。

写真上左) 当日の参加者の子どもの年齢にあった絵本を図書館で借り、読み聞かせを行っています。なるべくその季節にあった絵本を選び、日本の文化の紹介にも繋げております。また、外国語の絵本もあるので、外国人ママに母語で読み聞かせをして頂いたり、双方向の参加を目指しています。

写真上右) 1ヶ月に1回程度、お料理会を行っています。外国人ママから希望を伺ったり、季節にあったものを作ったりしています。また、外国人ママに講師になって頂き、ご自身の国のお料理を紹介して頂いたり、双方向の参加を目指しています。

写真下) 外部から講師を招き、外国人ママが日本で直面するであろう問題を、解決できる一助となるような講習会を行っています。写真は「乳幼児予防救急講習会」のもので、豊中市消防局の消防士の方に来ていただき、子どもが怪我などをしたときの対処法、救急車の呼び方などを教えていただきました。また、外国人のための医療サイトの紹介もしていただきました。その他「母語での読み聞かせの重要性」等の講習会も行っています。

にほんご 交流活動 事 業

千里にほんご

2017 年度からスタートした日本語交流活動。千里地域連携センターとの共催で、豊中市東部・千里地域での外国人の居場所、交流の場づくりを行っています。毎週木曜日 10 時~11 時 30 分。(会場:千里公民館、千里図書館)

ボランティアより

2019 年度を振り返って

千里にほんごは、今年で 4 年目になります。学習者の人数は、まだまだ少ないですが、手の空いているボランティアが、来ている子どもたちを見るようにしていて、子ども連れの方も安心して学習して頂けていると思います。2019 年度は、学習者の持てる力を引き出す試みとして、料理の得意な方に自国料理を作り、料理会を開き、とても好評でした。又、行事として夏には七夕、年始には日本のお正月の遊びを楽しむ「お楽しみ会」をしています。



写真上) お楽しみ会では習字にチャレンジ!

写真下左) 七夕飾りをつくりました!

2020 年度に向けて

2020 年度も、学習者がまた行きたくなるような雰囲気づくりを行うとともに、学習者・ボランティア両方にとって魅力ある場所を目指し、活動を続けてまいります。



写真下右) 公民館のお祭りにも活動紹介のポスターを作り参りました

にほんご 交流活動 事 業

もっともっとつかえるにほんご

日本語交流活動。毎回テーマを設定しての教室形式で実施しています。学習者にはそれぞれボランティアがサポートにはいり、個別対応もしています。毎週月曜日 10:00～12:00

2019 年度を振り返って

毎回バラエティに富んだテーマで「ともに学ぶ」姿勢を大切にしながら活動しています。ボランティアが学習者に寄り添うことで、片言の日本語であってもお国のこと生き生きと話せるようになった学習者の姿にボランティアとしてのやりがいを感じています。講座内容を工夫して、生活の中で知っておくと便利な言葉なども覚えてもらなながら、この1年も学習者と一緒にいつも笑顔の絶えない有意義な活動をすることができました。

ボランティアより



2020 年度に向けて

学習者を取り巻く環境や学習目的が多様化していく中で、ボランティアとして何ができるのか、その役割をしつかり見極めながら、学習者とさらに交流を深めて、心地よい同時に学びあいのある場にしたいと思います。



写真上) 日本の歌をみんなで歌ったあと、家族全員でお国の歌を紹介してもらいました。

写真中) いつもの発表タイム。学習者さんが地図を書いてよく行く場所の行き方を教えてくれました。

写真下) CC スペースを使って、学習者の横でボランティアが細やかなサポートをしています。

にほんご 交流活動 事 業

とよなかにほんご・木ひる

日本語交流活動。レベル別、目的別でのグループ活動です。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK! 毎週木曜日 13:30～15:20

2019 年度を振り返って

日常の活動（勉強）だけでなく、お料理会などでは学習者さんに、お国の料理を作っていたなど、楽しく国際交流ができるよう企画しています。現在ボランティアは24名、学習者は、入れ替わりが多いのですが、20名前後が参加。またニュースレターも年4回発行し、学習者は日本に来てびっくりしたこと、ボランティアは海外に行って驚いたことを、答えてもらうなど、親しみを持って、お互いの理解が深まるよう工夫しています。

ボランティアより



2020 年度に向けて

各ボランティアの日本語を教えるスキルを高めるとともに、グループ学習の強みでもある、学習者、ボランティアがお互いに意見を出し合い、充実した楽しい学習交流活動となるよう、より一層の工夫をしていきたいです。

写真左) ポットラックパーティではいろんな国の料理がならびました
写真右) みんなで一緒にたのしく学んでいます

にほんご
交流活動
事 業

とよなかにほんご・金あさ

日本語交流活動。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでもOK!
毎週金曜日 10:30~12:00



写真) 年明けには書初めにも挑戦しました!

2019年度を振り返って

「年末のお楽しみ会」

恒例のバザー、お茶、お菓子を食べながらのグループでの交流に加えて、ボランティアさんが持ってきてくれた打掛、髪飾りを学習者が次々と着用して写真撮影。大盛り上がりでした。

金あさは少人数や個別で学習できるので、それぞれのニーズやレベルに応じて対応できる場所です。月一回学習者同士の日本語でのコミュニケーションの時間もあります。日本語の学習以外に日本で生活する悩みや不安等も話せる場になっています。

ボランティアより 2020年度に向けて

日本語学習の充実をはかるとともに、いろいろな行事などを通して、国を超えての学習者間の交流、ボランティア間の交流にも力を入れていきたいと思っています。

にほんご
交流活動
事 業

にちようがちゃがちゃだん

平日働く人たちも参加できる日本語交流活動。参加者のさまざまなニーズに対応しています。
毎週日曜日 10:00~12:00 (第一日曜日は休み)



2019年度を振り返って

「にちようがちゃがちゃだん」には平日働く若い外国人が多くやってきます。メンバーの入れ替わりも多く、ボランティアも模索と試行錯誤の連続ですが、厳しい状況下でも真面目に努力する学習者の姿に学ぶことが多く、元気づけられています。12月に料理交流会をしています。母国の料理を協力して調理し、一緒に食べ、片づける、それがとても自然になごやかに行われることに感動し、毎回参加して良かったと思える楽しみなイベントです。

ボランティアより

2020年度に向けて
新型コロナウイルスの感染拡大などで多くの外国人は日本での生活に不安を抱えていると思います。日本語交流は双方の活動、お互いの生活に思いを寄せ、気軽に遊びに来れる、心和む場を作っていくたいです。

写真左) みんなでハイ、チーズ!
写真右) お料理会も行いました。

多文化共生推進事業

多文化共生推進事業

日本人／外国人のために、参加しやすく、異文化理解を促進する様々な取り組みをおこなっていきます。

2019年度を振り返って



【国流シネマカフェ】

今年度も「観たい映画アンケート」で次回上映作品を決め、年3回の開催となりました。季節に合わせて夏休み期間中にはアニメ、冬にはクリスマスにちなんだ作品を上映し、参加者からも好評でした。

【世界を食べよう】

今年度は3回実施の予定が、1回は講師の急病、1回はコロナウィルスの影響で中止になり、1回のみの開催となりました。フィリピンのクリスマスをテーマに、クリスマス定番料理を作るだけでなくフィリピンのクリスマスの過ごし方のプレゼンもあり、とても充実した会になりました。

【多文化・多言語セミナー】

「アリラン峠を越えていく～在日コリアン音楽の今」でのトークとパンソリ公演は大盛況！

2020年度に向けて

【国流シネマカフェ】上映後におしゃべりができるような『カフェタイム』を計画したいと思います。

【世界を食べよう】今年度開催できなかった外国人向けの日本料理教室をはじめ、料理を通じた交流の機会を作っていくたいと思います。

【多文化・多言語セミナー】市民の皆さんに気軽に足を運んでいただき、かつ多文化共生について学びを深められるような企画を、今後も考えていきます。

持続可能な人づくり事業

ボランティア養成・研修／哲学カフェ

- ・時代に則した学びの場、および対話の場を創造し、多文化共生社会をつくる人づくりを行っています。
- ・哲学カフェ（大阪大学臨床哲学研究室の協力、カフェフィロとの共催）
- ・日本語ボランティア養成講座の開催（年1回）

2019年度を振り返って

【ボランティア研修】

今年度も日本語ボランティア養成講座ならびに多文化子育て支援ボランティア養成講座のほか、「多文化共生セミナー」や（一財）とよなか男女共同参画推進財団との共催による公開シンポジウムの開催、また、2年ぶりに「アンラーン・学びほぐしシリーズ“あたりまえ”に対抗する“ばづくり・ひとづくり”実践者セミナー」を開催しました。

【哲学カフェ】

2019年度は3回実施の予定でしたが、コロナウィルスの影響で2回の実施になりました。今年は毎回のテーマ設定のほかにも“若者”“女性”と、ターゲットをしぼり、実施しました。

2020年度に向けて

【ボランティア研修】

来年度も引き続き、「国際交流」の枠にとらわれず、人権にかかわることを横断的に学んだり、私たちの身の回りの「当たり前」を問い合わせることができるようなテーマの研修を開催していきたいと考えています。

【哲学カフェ】

2020年度も毎回のテーマ設定やターゲットなどをしぼった上で、参加者の背景や日本語力なども考慮しながら進めたいです。



写真上) 学びほぐしセミナー 講師: 渡辺一史さん

写真中) 多文化子育て支援ボランティア養成講座、講師: 谷口正子さん

写真下) ボランティア研修 講師: 高谷幸さん

持続可能な 地域づくり 事業

- ・持続可能な開発のための教育の10年(ESDとよなか)
- ・メディアリテラシー市民ゼミナール・講師派遣
- ・EPA介護福祉士候補者のための日本語・通訳派遣

【ESDとよなか】国連持続可能な開発のための教育の10年（2005年～2014年）の理念に基づき、次世代に渡る地域づくりのための多様なセクターが連携するための取り組み。【メディアリテラシー】メディア分析を通じて「外国人・日本人」の捉えられ方、考え方を見直す参加型の講座。【講師派遣】地域の学校・諸団体への講師派遣。【EPA日本語】介護福祉士候補者のための日本語サポート

2019年度を振り返って

【ESD連絡会議】

今年は会議のほか、施設間スタンプラリー、SDGsセミナー、ちゃんぶるカフェ、ちゃんぶる屋台村に取り組みました！

【メディアリテラシー入門講座】

2019年度は子どもとメディアをテーマに、海外の日本の子ども向け番組の違いについて読み解きました！

【講師派遣】

2019年度は豊中市内外の学校をはじめ、人権研修などのべ55件、73人が各機関に出向きました。

【EPAST】

昨年度に引き続き、介護福祉士候補者のための日本語グループ「EPAST (EPA support Toyonaka)」は、介護福祉士国家資格取得のための日本語学習サポートを事業所と連携しながら定期的に行いました。候補者1人のサポートに加え、6名の技能実習生の日本語能力レベル到達に向けた学習サポートも併せて実施しました。

【通訳派遣】 中間支援組織等の要請にもとづいて通訳派遣を行っています。

2020年度に向けて

【ESD連絡会議】

会議と実践をしっかりとつないで、人のつながりを増やしていきます。

【メディアリテラシー入門講座】

2020年度は他の事業と連携して、より多くのボランティアに参加してもらえるように工夫していきたいです。

【講師派遣】

2020年度も引き続き多文化共生・協会事業について発信していきます。

【EPAST】

今後も事業者の要望に応えて、候補者の日本語学習支援など日本で安心して生活できるようなサポートをしていきたいと思います。

【通訳派遣】

2020年度は、コミュニティ通訳だけではなく、災害時の通訳ボランティアも兼ねた養成講座を開催したいと思っています。

※ESDとよなか連絡会議 赤ちゃんからのESD、市民環境会議アジェンダ21、人権まちづくり協会、国際交流協会、男女共同参画推進財団、社会福祉協議会、教育委員会（社会教育課）、環境政策課、千里文化センター、人権政策課が構成メンバーのゆるやかなネットワーク



写真左) 市内の介護施設と連携して、EPA(介護福祉士候補者)、技能実習生への日本語指導を実施しています。※写真は2018年度のものです。

コモとスースのポストカードセット
(5枚入り、200円)
事務所にてまだ好評販売中！



市民活動 協 動 事 業

市民活動協働事業

様々な市民団体、中間支援組織と共に、多文化共生のまちづくりをすすめるための協働事業を実施するとともに、市民主体の国際交流活動を促進するための相談、および支援をおこなっています。

2019年度を振り返って

「市民活動共同デスク」「しょくやない REK」など中間支援組織のネットワークで情報共有、発信をしています。

【とよなか国際交流フェスタ】オープニングのパフォーマンスや世界の風景撮影スポットなど、初めての企画もあり盛り上がりました。また、センター登録グループや事業ボランティアによる実行委員会形式で開催し、センターで活動する登録グループの成果発表の機会ともしました。

【せかいのおばけやしき】今年のテーマは「おばけと友達になろう！」。会場内にはお化けと話をするミッションが作られ、参加者は恐る恐るお化けと会話したり、外国语でクイズに答えていました。会場の外ではかき氷が配られ、『ひんやりおばけシアター』での上映、おばけぬりえコーナーなど、来場者のアンケートでは「たのしかった！」という声が最も多くあがりました。

2020年度に向けて

【とよなか国際交流フェスタ】年々雰囲気も賑やかになり、さらに来館者へのアピールに力を入れていきたいです。毎年、とよなか男女共同参画推進センター「すてっぷ」のライブラリーまつりと共催なので、来年度は共同企画を開催したいです。

【世界のおばけやしき】毎年、事業の垣根を越えたスタッフが一同に集まって作り上げています。来年度は今年度以上に参加者・スタッフ・ボランティア同士のつながりを作る方法を考えたいと思います。



写真上) 世界のおばけやしきの様子。スタッフ・ボランティアの集合写真
写真下) 「とよなか国際交流フェスタ」の様子。

施設管理受託事業

施設管理受託事業

豊中市からの委託をうけて、とよなか国際交流センターの貸室業務などの公共空間の管理、組織運営を行っています。

2019年度を振り返って

センター登録団体と国際交流フェスタを行い、今年もにぎわいました。利用者の視点から、館内の掲示、フリースペースの配置などについて改善を進めています。

<ギャラリー展示>館内ギャラリーにハイライトを載せるだけでなく、毎月の催事や館内の廊下・壁面にも事業の活動報告を掲示しました。また、事業の案内に限らず、豊中市立第四中学校夜間学級の展示や映画「焼き肉ドラゴン」の舞台となった伊丹の中村地区に関するパネルなどを掲示することで、初めてセンターに来られる方もいました。



ギャラリーを活用して、センターでの事業の広報も行っています。

2020年度に向けて

新型コロナウィルスの感染を防ぎながらも、使いやすい、居やすい、ほっとするような場づくりを進めたいです。

【ギャラリー展示】ふらっと訪れた来館者にも国流の活動を身近に感じてもらうための展示・仕組みづくりを考えています。

TOPICS

新型コロナウイルス感染症拡大による 多言語支援センターの開設

現在も収束の様子を見せない新型コロナウイルス感染症ですが、2020年4月末時点までの取り組みを以下報告します。当会では1月30日よりfacebookでコロナウイルスに関する情報提供をスタートしましたが、2月3日に豊中市から災害時多言語情報支援センターの設置の要請に基づいて、多言語支援センターを設置しました。2月20日からは感染拡大防止のために日本語交流活動など多くの市民が集う事業を中止しましたが、2020年6月1日現在、相談事業は継続すると同時に、外国人向けの多言語情報提供を続けています。

【多言語情報の発信】

従来は日本語のFacebookページに多言語情報を掲載していましたが、言語別のFacebookページを開設し、そこで多言語情報を配信するようになりました。内容については、健康（手洗いについて／NHK worldの紹介／市内の感染者発生について／コロナウイルスについて／感染予防等）、生活（小学校等の休業及び放課後こどもクラブについて／臨時の居場所／小学校等の休みの延長等）、他、労働、出入国管理、当センターの施設や事業関係の情報について、他機関の多言語情報をシェアするだけではなく、独自で作成して随時情報発信しています。また、センターにメールニュース配信を希望されている方には直接メールで情報提供を行っています。



【相談窓口の拡充と継続について】

日本語交流活動などボランティアと外国人市民が交流する機会がなくなったことで、不安を抱える外国人の相談の場を確保するため、3月は臨時に多言語相談を拡充しました。3月1日～4月末の新型コロナウイルスに関する相談件数は149件で、内容は労働関係（収入が減って困っている／ニュースでは手当がもらえると聞いた。詳細が知りたい 等）、健康・医療関係（コロナに感染しているかどうか、検査してもらいたいができない。効果的な予防方法は何か 等）、生活（外出できず、家にこもっていると鬱になりそう）、子ども（休校中の過ごし方について）、人間関係等（外に出て中国語で友達と話しているだけでならまれる）等、様々な相談が寄せられています。4月からは相談事業の拡充に伴って、週5日相談日を開設し、引き続き情報提供・相談支援を継続しています。

【今後の課題】

これまで日本語交流活動や居場所づくりの事業で外国人とつながり、外国人の状況やニーズの把握を行っていましたが、今後はSNS等や外国人コミュニティとの連絡の中でニーズ確認をしていきたいと思っています。また、中国、韓国に対する誹謗中傷や、日本国内の感染者の3分の1は外国人だといったデマなどへの対応も検討していきます。また、特にリスクの高い状況にある外国人へのアウトリーチも必要となると思われますので、今後の相談の方法を工夫し、検討しながら支援を継続していきます。

「外国人と共生する地域づくり」出版記念フォーラムを開催



報告書はこちらから

当協会は、2018 年度に設立 25 周年を迎えたことを機に、これまでの取組みを振り返り、現状を分析し、今後を展望するため、『外国人と共生する地域づくり～大阪・豊中の実践から見えてきたもの』(明石書店／監修：牧里毎治) を 2019 年 3 月末に出版しました。これを記念して同年 6 月 29 日（土）に「とよなか国際交流協会・大解剖！」と題して出版記念フォーラムを、すてっぷホールと当センターにおいて開催し、市民、関係者など 102 人の方にご参加いただきました。監修者である牧里毎治さん（関西学院大学名誉教授）の基調講演の後、「協会の過去・現在・未来」、「相談」、「ボランティア」、「機関連携」をテーマにした 4 つの分科会にわかれ、地域福祉における外国人支援のあり方や可能性、協会のめざすべき方向性など、様々なテーマで意見交換を行うことができました。これからも当協会は試行錯誤と挑戦を続けたいと思います！



(写真) 基調講演の牧里毎治さんと、分科会の様子（一部）

「無断離婚対応マニュアル」を出版＆出版記念シンポを開催

リコン・アラート詳細はこ
ちらから

当協会が代表事務所を務める「リコン・アラート（協議離婚問題研究会）」は 2015 年 2 月に関西で外国人相談を実施する団体が共催で、シンポジウム「勝手に離婚されるだけじゃない？無法地帯の協議離婚」を開催したことをきっかけに結成されました。

「無断離婚」は外国人相談の現場では頻繁に寄せられる問題ですが、外国人のみならず日本人同士でも見られる事件です。日本の協議離婚制度は世界でも稀な簡便な離婚制度であるが故に、当事者への周知は不可欠です。

この度、情報発信の一環で作成した支援者向けマニュアルが日本加除出版より刊行されました（監修：二宮周平、松本康之）。外国人支援者だけではなく、学校関係者、福祉専門職、弁護士、行政関係者など、幅広い分野で活動する方々がこの問題や対応について共に取り組み、議論していただくきっかけになることを願っています。



(写真上左) 出版記念シンポジウムを 12 月 7 日に国際交流センターにて実施。無断離婚の被害を受けた当事者（2 名）や、執筆者等からの報告をふまえ、被害者支援のあり方や協議離婚制度の今後について考える機会としました。当日の様子は NHK 大阪放送局のニュースでも取り上げていただきました。

(写真上右) 2 月 15 日には大阪弁護士会と共に「外国人のための 1 日離婚電話相談ホットライン」を開催。弁護士と支援者、通訳者で対応しました。3 年目となる今回は全国から 15 件の相談が寄せられました。来年も引き続き実施予定です。

外国人の就労サポートに向けた取り組みについて

2009年のリーマンショック後、当協会では失業した南米日系人からの相談が急増しました。これを機に、豊中市地域就労支援センター等と連携した就労支援や、協会ボランティアによる仕事につながる日本語学習の場や資格取得の講座などが始まり、現在も継続しています。また、市内の事業所とつながり、外国人労働者のための日本語学習や定着支援も随時実施しています。現在は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って生活が不安定になった外国人からの相談に継続して対応しており、引き続き市内の諸機関と連携すると共に、新たな支援策についても検討していきたいと思います。

相談事業 × 豊中市地域就労支援センター

多言語相談サービスでは就労に関する相談にも対応しています。履歴書の書き方、求人情報の探し方や応募方法を含め、相談者本人の主体的な就職活動をサポートしています。地域就労支援センターと連携し、就労困難な相談者へのサポートも随時行っています。

若者支援事業

× とよの地域若者サポートステーション

若者支援事業では、外国にルーツを持つ若者の就労相談にも対応しています。「とよの地区若者サポートステーション」と連携しての活動を進めると共に、相談者である若者の居場所（毎週日曜開催「わかものたまりば」）の運営や、個別対応を行っています。

EPAST(EPA Support Toyonaka) × 介護事業所

介護の現場でも外国人労働者は増加しています。2017年度から市内の介護事業所でEPA（介護福祉士候補者）として来日した外国人のための日本語指導を協会の日本語ボランティア有志で結成した「EPAST」が行っています。

日本語ボランティアの試み

毎週月曜日の午前に開催している日本語交流活動「もっともっとつかえるにはんご」は、就労につながるための日本語習得をめざしてスタートした活動です。資格取得をめざした日本語能力検定試験サポートは「日本語支援グループ・むすびめ」が実施中（年6ヶ月）。また、毎週日曜日の午前の「にちようがちやがちやだん」は平日働く外国人が参加でき、日本語学習や地域のボランティアとの交流を深められる場となっています。

協会 × 事業所

働く外国人労働者の相談対応を多言語相談サービスで実施しています。また、外国人を雇用する（したい）事業所からの相談にも随時対応し、定着支援やアドバイスを随時行っています。
(写真右：事業所向けのチラシ)



好評販売中！

被害に苦しむ外国人に寄り添いサポートする、
支援者のための必読書！

無断離婚 対応マニュアル 外国人支援のための実務と課題

二宮周平・松本康之 監修 協議離婚問題研究会(リコン・アラート) 編

2019年9月刊 A5判 288頁 本体3,200円+税 978-4-8178-4586-3 商品番号:40780 略号:無断離

- 相談対応の仕方から、法的な手続や申立書・訴状などの書式、更には「在留資格」「生活保護」「年金・健康保険」まで、関連する実務を網羅。
- 実際の事例を示すとともに、Q&A形式で支援者が何をすればいいのかを解説。

【主な収録内容】

第1章 支援者に必要なこと

- 第1 無断離婚による痛み
- 第2 支援者対応Q&A～ある無断離婚ケースから
- 第3 伴走する支援者

第2章 協議離婚制度の成り立ちと問題点

- 第1 協議離婚制度の成り立ちと意義
- 第2 協議離婚制度の問題点
- 第3 無断離婚成立の状況～現場からの報告
- 第4 無断離婚を争う外国人の直面する問題・負担

第3章 無断離婚の予防～不受理申出制度

- 第1 不受理申出制度
- 第2 離婚届不受理申出の手続き
- 【書式①】離婚届不受理申出書
- 【書式②】不受理申出の取下げ書
- 第3 離婚届不受理申出制度の問題を改善するために(提言)

第4章 無断離婚の司法的救済

- 第1 協議離婚無効への法的対応概説
- 【書式③】協議離婚無効確認調停申立書の文例
- 【書式④】協議離婚無効確認・婚姻取消調停申立書の文例
- 【書式⑤】協議離婚無効確認訴訟の訴状の文例
- 【書式⑥】協議離婚無効確認・離婚・親権者指定請求訴訟の訴状の文例
- 【書式⑦】告発状の文例
- 第2 協議離婚無効確認訴訟の主張・立証
- 第3 法的対応Q&A

第5章 無断離婚と子どもをめぐる問題

- 第1 子どもの人権保障
- 第2 子どもの引渡請求
- 【書式⑧】審判前の保全処分申立書の文例
- 第3 親子の交流
- 第4 当事者及び子どもへの法的・心理的支援

第6章 無断離婚から生じる問題とその対応

- 第1 はじめに
- 第2 在留資格
- 【書式⑨】配偶者との離婚又は死別の届出書
- 第3 社会保障
- 第4 その他の生活支援

第7章 今後に向けて

- 第1 リコン・アラートの活動
- 第2 協議離婚制度の見直し

リコン・アラート(協議離婚問題研究会)  RIKON ALERT

2015年2月に関西で外国人相談を実施する団体が共催で、シンポジウム「勝手に離婚されるだけじゃない?無法地帯の協議離婚」を開催したことをきっかけに結成されました。定期的な事例検討及び課題の集約を行うとともに、「外国人のための1日離婚相談ホットライン」の定期開催、また2017年4月からは外国人当事者向けの動画配信及び多言語パンフレットを通じた情報提供等を行っています。協議離婚制度の改善に向けて、様々な提言や情報発信に取り組んでいます。

 日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 TEL:03-3953-5642 FAX:03-3953-2061 (営業部) www.kajo.co.jp
ツイッターID:@nihonkajo

財務報告

正味財産増減計算書内訳表

2019年4月1日から2020年3月31日

(単位:円)

期首科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
① 経常増減の部				
② 収益事業収益				
③ 基本財産運用益	0	0	3,873,756	3,873,756
基本財産運用益合計	0	0	3,873,756	3,873,756
④ 特定資産収益				
特定資産運用益	64,200	0	0	64,200
特定資産運用益合計	64,200	0	0	64,200
⑤ 収益会費				
算助会員会費会費	853,000	0	0	853,000
受取会費	853,000	0	0	853,000
⑥ 事業収益				
自事業収益	2,147,906	0	0	2,147,906
事業収益	669,697	0	296,000	965,697
事業収益合計	2,817,603	0	296,000	3,113,603
⑦ 受託事業収益				
農中市指定管理受託料収益	60,620,110	2,198,653	0	62,818,663
小学校巡回外語体験活動事業受託料収益(農中市)	4,747,465	0	0	4,747,465
生活園路事業支援事業受託料収益(農中市)	2,206,493	0	0	2,206,493
受託事業収益合計	67,573,068	2,198,653	0	69,772,621
⑧ 受取補助金等				
助成金(大阪府ミュージカル財團)	0	0	0	0
助成金(独立行政法人福祉医療機構)	1,323,000	0	0	1,323,000
受取補助金合計	1,323,000	0	0	1,323,000
⑨ 受取寄付金				
委託富余金	973,118	0	51,000	1,024,118
委取寄付金合計	973,118	0	51,000	1,024,118
⑩ 離収益				
離収益計	42,507	0	0	42,507
離常収益計	42,507	0	0	42,507
離常収益合計	73,647,396	2,198,653	4,220,756	80,066,805
⑪ 事業費用				
新料手当	29,720,715	149,904	0	29,870,709
臨時雇用賃金	2,945,511	56,837	0	3,002,348
福利厚生費	5,866,574	131,968	0	5,998,542
旅費交通費	2,005,761	0	0	2,005,761
通信運搬費	986,730	0	0	986,730
図書購入費	612,629	0	0	612,629
消耗品費	2,761,431	10,572	0	2,772,003
修繕費	615,996	0	0	615,996
印刷製本費	204,058	0	0	204,058
材料費	81,058	0	0	81,058
水道光熱費	5,027,827	186,216	0	5,214,043
賃借料	1,155,137	0	0	1,155,137
保険料	329,282	0	0	329,282
旅宿費	10,772,925	0	0	10,772,925
租税公課	4,326,554	134,975	0	4,461,529
支払負担金	94,800	0	0	94,800
委託費	4,696,213	151,992	0	4,851,235
使用料	504,650	0	0	504,650
支払手数料	5,971	134	0	6,105
食料費	98,727	0	0	98,727
添外費	18,661	0	0	18,661
研修費	27,280	0	0	27,280
旅費支票費	269,943	0	0	269,943
離賃	35,191	0	0	35,191
離損失	254,061	0	0	254,061
事業費計	74,307,716	825,688	0	75,133,404

期首科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
II 指定正味財産増減の部				
① 管理費				
給料手当	0	0	841,641	841,641
福利厚生費	0	0	20,830	20,830
旅費交通費	0	0	90,580	90,580
通信運搬費	0	0	11,028	11,028
消耗品費	0	0	19,127	19,127
水道光熱費	0	0	106,409	106,409
賃借料	0	0	23,909	23,909
保険料	0	0	102,260	102,260
旅宿費	0	0	859,400	859,400
租税公課	0	0	19,271	19,271
使用料	0	0	567	567
委託費	0	0	198,563	198,563
食料費	0	0	182,839	182,839
研修費	0	0	0	0
添外費	0	0	51,180	51,180
広告宣伝費	0	0	8,385	8,385
支払手数料	0	0	514	514
管理費計	0	0	2,539,503	2,539,503
新業費用計	74,307,716	825,688	2,539,503	77,672,907
△ 管理費調整額(当期経常増減額)	△ 660,320	1,372,965	1,681,253	2,393,898
△ 特定資産評価損益等	△ 54,358	0	0	△ 44,358
△ 当期正味財産増減額	△ 744,678	1,372,965	1,681,253	2,309,510
△ 経常外増減の部				
① 経常外収益	0	0	0	0
△ 経常外収益計	0	0	0	0
② 経常外費用	0	0	0	0
△ 経常外費用計	0	0	0	0
△ 異常外増減額	△ 672,528	△ 672,528	0	0
△ 他会計振替額	△ 72,150	799,437	1,681,253	2,409,510
△ 人件費、住民税及び事業税	0	235,160	0	235,160
△ 当期正味財産増減額	△ 72,150	467,337	1,681,253	2,176,440
△ 一般正味財産期末残高				15,309,570
△ 一般正味財産増減の部				17,377,010
III 指定正味財産増減の部				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息(掛け)	0	0	3,873,756	3,873,756
基本財産運用益計	0	0	3,873,756	3,873,756
② 受取寄付金				
受取寄付金(返却の多寡を記入して下さい)	0	0	0	0
受取寄付金計	0	0	0	0
③ 基本財産運用益(指定)				
基本財産運用益(指定)の振替額	0	0	△ 3,873,756	△ 3,873,756
△ 一般正味財産への振替額	0	0	△ 3,873,756	△ 3,873,756
△ 当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
△ 指定正味財産期末残高				202,000,000
△ 一般正味財産期末残高				202,000,000
△ 正味財産期末残高				219,377,010

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 基本財産の投資有価証券は償却原価法(定額法)によっている。

その他有価証券 特定資産の投資有価証券は期末日の市場価格に基づく時価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用図書 個別法による原価法によっている。

当期末の実地棚卸残高に基づき計上している。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(5) リース取引の処理方法

貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
① 現金預金			
小口現金	52,220	37,798	14,422
貯蓄用現金	1,480	42,820	△ 41,340
普通預金	13,540,477	11,223,924	2,316,553
郵便振替貯金	0	6,000	△ 6,000
財政調整定期預金	2,000,000	2,000,000	0
現金預金合計	15,594,177	13,310,542	2,283,635
② 棚卸資産			
販売用図書	171,015	1,037,705	△ 866,690
棚卸資産合計	171,015	1,037,705	△ 866,690
③ その他流動資産			
未収金	1,270,027	1,522,405	△ 252,378
前払金	48,000	48,000	0
立替金	0	0	0
その他流動資産合計	1,318,027	1,570,405	△ 252,378
流动資産合計	17,083,219	15,918,652	1,164,567
2. 固定資産			
① 基本財産			
基本財産預金	880,828	954,584	△ 73,756
投資有価証券	199,119,172	199,045,416	73,756
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
② 特定資産			
事業継続積立資産	0	0	0
財政調整積立資産	10,527,271	10,611,629	△ 84,358
多文化子どもエンパワメント事業積立資産	2,000,000	2,000,000	0
特定資産合計	12,527,271	12,611,629	△ 84,358
固定資産合計	212,527,271	212,611,629	△ 84,358
資産合計	229,610,490	228,530,281	1,080,209
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,158,171	5,325,797	△ 1,167,626
未払消費税等	2,465,300	1,991,300	474,000
未払法人税等	233,100	212,900	20,200
前受金	261,000	389,800	△ 128,800
預り金	711,321	1,041,524	△ 330,203
市預り金(貸金)	1,480	42,820	△ 41,340
修繕預り金	696,041	289,503	406,538
賞与引当金	1,507,067	1,736,067	△ 229,000
流动負債合計	10,033,480	11,029,711	△ 1,449,091
負債合計	10,033,480	11,029,711	△ 1,449,091
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取基本財産預金	880,828	954,584	△ 73,756
受贈投資有価証券	199,119,172	199,045,416	73,756
受取寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	202,000,000	202,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
2. 一般正味財産			
一般指定正味財産合計	17,577,010	15,500,570	2,076,440
(うち特定資産への充当額)	(12,527,271)	(12,611,629)	84,358
正味財産合計	219,577,010	217,500,570	2,076,440
負債及び正味財産合計	229,610,490	228,530,281	1,080,209

公益財団法人とよなか国際交流協会

理事長 田中 雄之 殿

監査報告書

2020(令和2)年4月25日

公益財団法人とよなか国際交流協会

監査 佐藤 伸一 殿

公益財団法人とよなか国際交流協会

監査 望原 寛子 殿

公益財団法人とよなか国際交流協会

監査 久保 靖吾 殿

私たち運営は、平成31(2019)年4月1日から令和2(2020)年3月31日までの事業年度の報告の義務の履行を監査いたしました。もくろ成る所見について、次のとおり発表いたします。

1. 監査の方法及び手順等

各監査は、専門及び有利害関係と実地踏査を組み、複数の収集及び検査の実績に努めるとともに、監査を適切に監視する会議に出席し、機密及び個人情報を含む調査の実施について同行を受け、必要に応じて説明を致し、監査実施結果を報告する権利を有する旨を監査に説明いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業実績について監査いたしました。

さらに、会員登録又はこれに該する資料の漏洩を行ひ、個人の状況を正しく示していないものと認めます。

理事会の職務の執行に関する不正行為又は其の若しくは怠慢に違反する重大な事実が認められました。

2. 監査意見

- (1) 年度終了日における監査結果
 - ・事業実績は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ・理事会の職務の執行に関する不正行為又は其の若しくは怠慢に違反する重大な事実が認められました。

(2) 会員登録又はこれに該する資料の漏洩を行ひ、個人の状況を正しく示していないものと認めます。

2019年度冬季募金

107,610円

25周年記念募金(2018~2019年合計)

455,687円

その他寄付

27,000円

書き損じはがき、未使用テレカな

どのリサイクルキャンペーン

780円(相当) 他文具、日用品等

ご協力ありがとうございました

いただいた募金および物品は、「多文化子どもエンパワメント事業」等支援事業に役立てさせていただきます。25周年記念募金については、記念事業で実施した出版およびフォーラム関係の取り組みに活用させていただきました。

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【ご報告】「多文化子どもエンパワメント事業」

多文化子どもエンパワメント事業の一事業である「若者支援事業」では、外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、様々な活動を行っています。2019年度も引きつづき若者のための居場所づくり「たまりば」の活動(32回、のべ65人)を継続するとともに、夜間中学校や定期制高校に通う若者を対象とした日本語支援(32回、のべ44人)、若者に関する支援者研修会、イベント、相談対応などを実施しました。次年度以降も、上記に加え若者の就労を考える取り組みなど、当事者のニーズに沿った活動を続けていきます。ご支援いただいた皆様に心から感謝いたします。

協力者ご芳名

(2019年度分の賛助会費・2019年度内に募金・寄付金およびリサイクル寄付にご協力いただいた方々、敬称略、五十音順、過去に匿名希望だった方は今年も匿名にしています)

青柳 隆	小林 麻由佳	馬場 賴子
青柳 尚子	小林 美由紀	濱田 牧
明石 正彦	小松 明仁	原田 武男
秋山 真視	今野 さゆみ	原田 正仁
足立 佐知子	斎藤 武晴	春山 健一
有賀 千洋	坂上 直子	久木 治男
有田 進	佐川 伸子	久田 真弓
安藤 敦子	佐々木 淳子	久田 札子
池田 真知子	佐藤 英樹	平山 遙
石川 朝子	佐藤 洋子	樋渡 達成
石田 紀子	澤田 啓子	福田 克人
石田 町子	城地 秀美	藤井 理絵
石原 毅	神宮 拓真・優	藤島 宏美
石見 直生	鈴木 明葉	藤田 和世
井関 雅子	隅内 茂	藤原 幸司
市来 奈津未	角田 卓也	古川 悅子
一階 礼子	大源 文造	細見 啓子
伊藤 誠剛	高岡 奏子	増田 博子
井藤 里香	高木 智志	松原 裕子
井上 佳子	高木 英之	松本 康之
井上 史	高田 麻子	間所 宏規
井上 由美子	高田 絵里子	馬見塚 幸枝
井上 良	高橋 香織	丸山 竹司
井下 祥子	田上 浩	水田 仁美
今井 貴代子	瀧川 渚	水谷 卓郎
今井 順子	滝村 恵子	溝口 晴美
今田 雅敏	田中 清子	三井 知里
上田 幸子	田中 敬三・恵子	南 一成
上間 紫織	田中 潤治	宮本 梢
鵜飼 美知子	田中 登美子	宮本 祐子
臼井 佐穂	谷口 正子	本原 光弘
内海 弘子	玉利 智絵	森 博次
衛藤 ますみ	知名 陽子	森川 陽子
榎井 縁	津田 はる菜	森田 登
榎原 智子	鶴沢 隆広	森田 ますよ
遠藤 稔典	照井 篤子	森次 早苗
老田 真理子	徳弘 保	門馬 明子
種田 ゆみこ	徳弘 博子	八木 加奈美
大池 裕子	土佐 いづみ	安岡 健一
大久保 真由美	富岡 美知子	薮田 直子
大島 昭子	友國 武	山口 博之
太田 法子	友滝 由美	山下 大輔
岡野 かおり	内藤 円佳	山田 卓史
小川 京子	長井 綾子	山野上 隆史
小川 美由紀	中川 菜摘子	山林 奈津美
奥井 正光	中田 奎代	山本 愛
小田垣 進	中谷 尚三	山本 弥生
越智 陽子	中野 明美	山本 恵信
小野 仁彦	中野 道代	結城 陽子
小原 純子	中埜 みちる	横川 直躬
梶浦 愛子	長野 良子	吉川 吉美
片岡 由賀子	中野 義澄	吉田 照文
金本 聖広	永原 武敏	吉田 靖子
金築 清	中村 美枝	吉野 由美子
亀山 映子	成田 晃	吉宮 文代
木内 淑子	成田 妙子	米澤 千枝
北側 佳恵	西川 順子	米田 綾香
北村 澄子	西原 真理子	和泉 周子
金 相文	野島 大輔	和田 由起子
金 宣吉	野田 幸宏	渡邊 瞳
金 和永	野村 智子	
木村 隆夫	芳賀 理絵	
木村 凉子	萩尾 安希子	
金城 清美	狭間 徹	
倉橋 真由美	長谷川 洋司	
郡山 基彦・智代	蜂須賀 隆銳	
小島 和恵	服部 圭子	
後藤 澄江		

他、匿名 74 名
1 団体

<団体>
 株式会社 井上組
 公益財団法人 AFS 日本協会
 社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団
 グループゆうゆう（有友・友遊）
 NPO 法人 国際交流の会とよなか
 学校法人 中央工学校 OSAKA
 豊中市教職員組合
 一般社団法人 豊中市日本中国友好協会
 豊中平和連帯会議
 日本聖公会 石橋聖トマス教会
 日本聖公会 東豊中聖ミカエル教会

賛助会員になって、 協会を応援して下さい！

協会の理念に賛同して、会員として協会の外国人のための支援事業を支えて下さる方を募集しています。

会員になると、「こくりゅうだより」などの情報を毎月お送りします。お申し込みは以下の郵便振替口座にて年会費をご送金ください(通信欄に「賛助会員年会費」と明記して下さい)。直接事務所でも受け付けています。(会費は税額控除の対象となります)

●加入者名:
公益財団法人とよなか国際交流協会

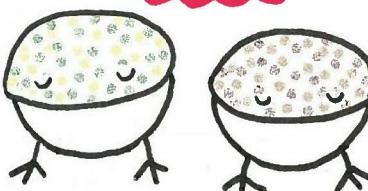
●口座番号:
00990-3-305828

●年会費: 個人 3,000 円、
団体 10,000 円、法人 10,000 円
(会員期間: 4月～翌3月末)

※ご寄付も隨時受け付けています！(税額控除の対象となります)

※他、未使用テレカやはがき、中古ゲームソフトなども集めています。

ありがとう
ございました



(公財)とよなか国際交流協会 役員

(2020年6月15日現在、順不同、敬称略)

【理事】

理事長：松本 康之（弁護士：長野総合法律事務所）
 常務理事：山野上 隆史（とよなか国際交流協会事務局長）
 金 相 文（前とよなか国際交流協会事務局長）
 榎井 縁（大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター特任教授）
 大島 昭子（ボランティアグループ音・音オカリーナ代表）
 浦 耕太郎（豊中市立小学校教諭）
 服部 圭子（近畿大学生物理工学部教授）
 徳弘 博子（元学校法人大阪音楽大学研究事務部門部門長）
 栗高 喜秋（元豊中市職員）

【監事】

種田 ゆみこ（種田ゆみこ公認会計士税理士事務所）
 呉 幸 哲（吳税理士事務所）
 栗原 貴子（栗原貴子公認会計士・税理士事務所）

【評議員】

井関 雅子（豊中女性防火クラブ連絡協議会会長／大阪国際文化协会会员）
 野崎 志帆（甲南女子大学文学部多文化コミュニケーション学科教授）
 窪 誠（大阪産業大学経済学部教授）
 園崎 寿子（エクパット・ジャパン関西共同代表）
 宋 悟（特定非営利活動法人クロスベイス代表）
 大家 幸子（豊中市立中学校教諭）
 村上 深雪（豊中市民）

【顧問】

金 菊子（大阪女学院大学特任講師）
 南 一成（元公益財団法人大阪府国際交流財団常務理事兼事務局長）
 柴田 亨（よみかき茶屋コーディネーター）

STAFF

(順不同・オンライン会議イメージ) 2020年6月15日現在

事務局スタッフ一同です。今年もよろしくお願いします！



- 上段左より：山本房代（事業主任）※育休中／山本愛（事務局次長）／山根絵美（事業主任）／大庭みゆき（事業担当）
- 中段左より：三木幸美（総務担当）／安藤綾子（総務主任）／山野上隆史（常務理事兼事務局長）
三谷あゆ子（総務担当）
- 下段左より：ホアン・グエン・バオ・チョウ（事業担当）／御園美由紀（総務担当）／黒島トーマス友基（事業担当）
池田かよ子（夜間受付担当）／中谷洋子（夜間受付担当）

公益財団法人とよなか国際交流協会 2019年度年次報告書（概要版）「こくりゅう@home 2019」

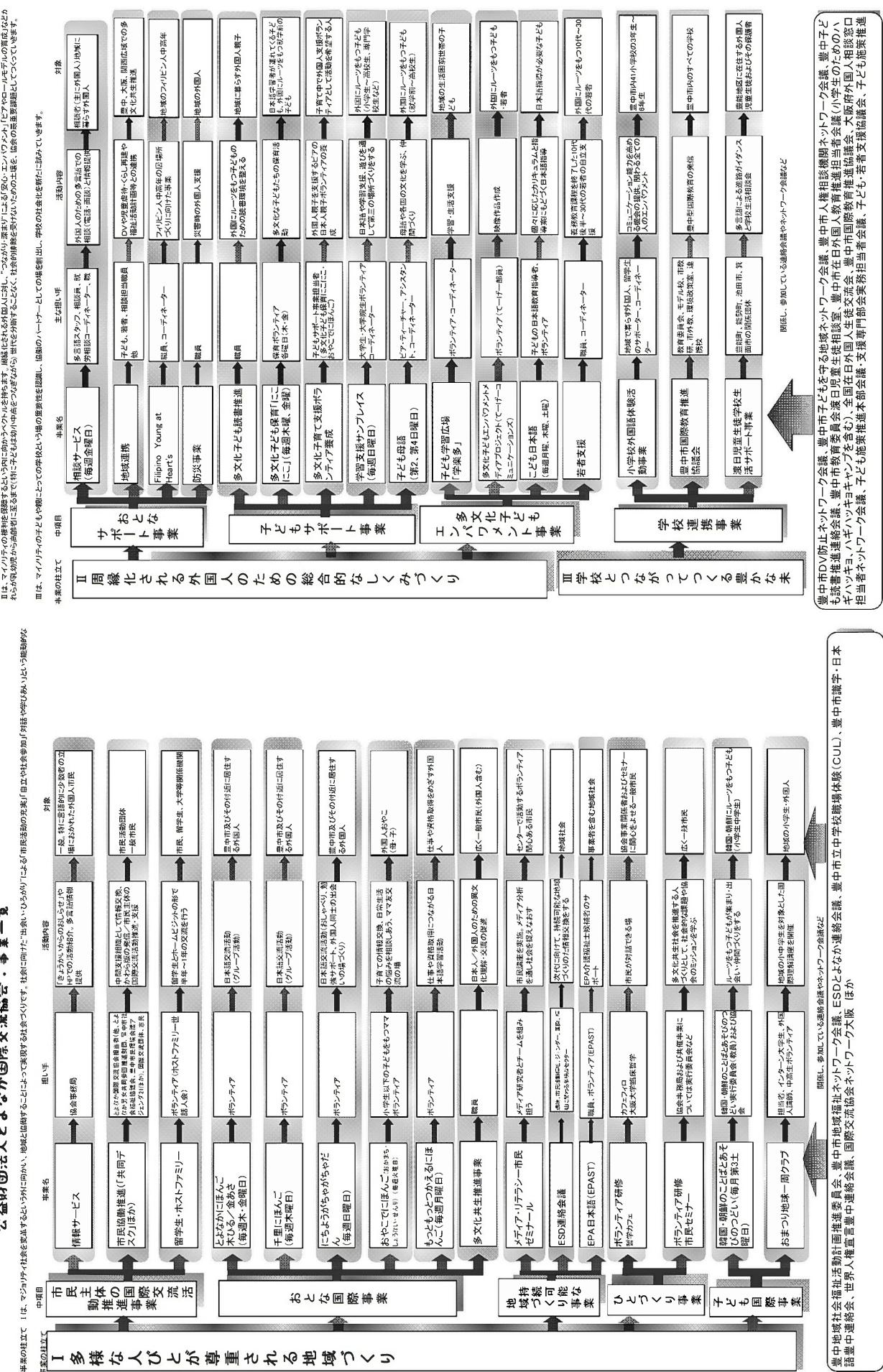
発行者：公益財団法人とよなか国際交流協会 発行責任者：理事長 松本康之 発行日：2020年6月15日

住所：大阪府豊中市玉井町1-1-1-601 とよなか国際交流センター

TEL: 06-6843-4343 FAX: 06-6843-4375 E-mail: atoms@a.zaqq.jp URL: <http://a-atoms.info>

公益財団法人とよなが国際交流協会：事業一覧

3年4月現在



II. は、理窟的分析を基礎とする「形式論」(formal logic)であり、それが「論理的思考」(logical thinking)の元となる。一方で、I. は、実用的分析を基礎とする「実用論理」(practical logic)であり、それが「実用的思考」(practical thinking)の元となる。

は、マジナリティ社会を実現するに向けた取り組みが、地域と協働することによって実現する社会づくりです。社会に向けた「出会い・いのち」「まちづくり」「市民活動の充実」「自立や社会参加」対話や社会参加の実現的な仕事の柱立て



外国人と共生する 地域づくり

大阪・豊中の実践から見えてきたもの

「共に生きるための地域づくり」を理念に25年間活動してきたとよなか国際交流協会の実践から学ぶ支援のヒント。外国人支援に関心はあるがツールのない行政・福祉の専門職、地域国際交流協会に向けて、多文化共生と福祉をつなぐ観点と可能性について論じる。



【内容構成】

- はじめに:本書の使い方[山野上博史]
第Ⅰ部 実践編——同様化される人々のための総合的なしくみづくり
 序章 事業の変遷[顔の見える公]をめざして[井戸 稔]
 1 章 相談事業
 1 文語翻訳——安心と信頼をつくる作業[吉野かおり]
 2 相談事業担当職員の試行錯誤[山本 健]
 2 章 ことじ事実
 1 子ども事業[さき]——子どもボランティアがくくる広場所[今井貴代子]
 2 こども事業と居場所[いじわらんねあはるて!][山根裕美]
 3 若者支援——就職だって宿題[黒島トマス友紀]
 3 章 日本語文化交流
 1 「日本語を教えるから日本語で知り合ひ、ながる・ええ合う」へ[新久麻紀]
 2 小市民による日本語文化交流の広がり[山野上博史]
 3 日本語事業の現場——即ち「場」の開拓づくりと関係づけ[山本房代]
 4 章 國流の取り組みを捉えなおす
 —ソーシャルワークの視点から[門脇由紀]
第Ⅱ部 社会状況編
 6 章 市の経営
 1 ひや市の多文化共生と外国人雇用[田中雄輔]
 2 多文化共生指針[山野上博史]
 3 福祉の視点からみる豊中市多文化共生指針[武田丈]
 7 章 國の施策と各地の対応
 1 日本の外国人政策と「外国人」イメージ
 ——法律と意識のギャップを生んでいたるもの[鈴嶋恵明]
 2 「多文化共生」のまちづくりと自治体政策[栗戸一郎]
 3 多文化共生地域福祉センター[村田美江]
 8 章 とよなか国流の基本理念を考える[佐藤]
 9 章 地域福祉からアプローチする多文化共生[牧里和治]

●定価 2,400円(税込)

A5判／並製／304頁

公益財団法人 とよなか国際交流協会 [編集]
牧里毎治 [監修]

●編集

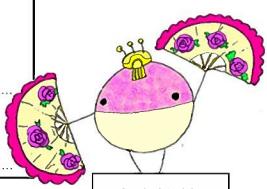
公益財団法人 とよなか国際交流協会

とよなか国際交流協会は、人権尊重を基盤とした住民主体の国際交流活動を推進することにより、地域の国際化を促進し、住民可及で公正な地域社会づくりに寄与することを目指して1993年に設立され、2018年に25周年を迎えました。地域や学校とともに多文化共生の「地域づくり」と「人づくり」を推進する同時に、マイグレイティである外国人が自立できる「みらい」をすすめています。

●監修者

牧里毎治(まささと・つねじ)

昭和学院大学名誉教授、関東学院大学客員教授。専門は市場論述とコミュニティワーク、人権論、人権法、豊中市、西宮市、神戸市などの地域福祉(支援)計画策定委員長を歴任。地域再生や商店街活性化のプログラム開発と地域社会に貢献する社会に実感の育成について研究。



広告協賛

吉岡誠一行政書士事務所

帰化、短期滞在、在留資格、永住

農業用地の宅地への変更

NPO 法人設立

遺言書作成

遺産分割協議書作成

古物商申請

中央官庁陳情文書作成

〒560-0011

大阪府豊中市上野西2丁目19番7号

H-P 090-8481-8485

E-mail spk92ed9@energy.ocn.ne.jp

TEL/FAX 06-6853-7433

保険のことならおまかせください！

生命保険 損害保険 傷害保険
自動車 自転車 火災・地震
子ども 旅行 趣味 老後 等

株式会社 ライフサポート

大阪府茨木市美沢町20番地18号1F

電話番号 072-646-5434

E-mail: lifesupport-sj@snow.ocn.ne.jp

http://www.sjnk-ag.com/a/life_support/



空調機器販売・設計・施工
空調機リース・レンタル
給排水衛生設備 住宅設備機器販売・施工

株式会社 アオイ冷熱

〒560-0026 豊中市玉井町1丁目9番9号
PHONE (06) 6855-8182
FAX (06) 6855-7566
E-mail: aoi-mail@tcct.zaq.ne.jp



特定非営利活動法人
日本ハラール協会
NPO Japan Halal Association

〒558-0011 大阪市住吉区戎田3-17-4
エクセルアピコ2F

お問い合わせ
Tel: 06-4703-5966
Fax: 06-4703-5977
Email: info@jhhalal.com
Website: www.jhalal.com

多文化共生・持続可能な社会を目指して

活動内容

- ◆ハラール認証
- ◆ハラール・イスラーム講習・セミナー各種
- ◆外国人ムスリムサポート
- ◆学生支援



お気軽に
ご相談ください

豊中で世界グルメツア～♪

在住外国人が大活躍！

おかげさまで、**カフェ・サバナ**は9年目をむかえました。
これからも応援よろしくお願いします。



Welcome!



日がわり・国がわり サバナランチ

平日 11:30～14:00頃(売切れまで)

お料理自慢の外国人が、母国の家庭料理を紹介しています。



世界の味をそのままパック！

サバナ弁当

その日のランチをお持ち帰りいただけます。
ご近所には配達のご相談も承ります。(事前にご注文ください。)



Facebook 発信中！

アットホームな
レンタルスペース

お店を丸ごとお貸します。
飲食店、パーティー、ミーティングなどにお使いください。
継続的なご利用も大歓迎！
まずはご相談ください。
(平日の 15時以降 & 土日祝日
基本料金 1時間 1000円)

<ご注文・お問合せ>
カフェ・サバナ
TEL 06-6840-1014
メール tifa99@nifty.ne.jp
(TIFA 事務局)

TIFA事務所(2F)
TIFA カフェ・サバナ(1F)
ファミリー マート
ホテル アイボリー
クリニック
ダイアモンド 駐輪場
三菱東京 UFJ銀行
西宮 176号
交番
阪急宝塚線 豊中駅
住所: 豊中市本町 3-3-3
阪急豊中駅北口から徒歩 3 分

カフェ・サバナはTIFA(国際交流の会とよなか)の支援を受けて、地域の外国人と日本人が協力して運営しています。